

## 授業概要

アメリカとイギリスを中心とする英語圏の国の歴史、社会、文化を、文学や映画やニュースなどを通して具体的に考えていく。歴史の流れにそって、その各時代の文化の特質を把握する。適宜、ネイティブ・スピーカーの人を交えた講演会・ディベートを実施したり、近隣の異文化に関わる施設(NPO法人・異文化交流会)などを訪問することで、多様な文化や異文化コミュニケーションへの理解を深める。

## 授業計画

第 1 回	導入—英語圏文化とは何か (世界の文化の多様性についての現状と課題の説明)
第 2 回	シェイクスピアの文学—『テンペスト』における先住民とアメリカのイメージ
第 3 回	ピューリタン文化の形成—ヨーロッパ宗教革命と独立戦争(宗教文化の多様性について)
第 4 回	先住民問題 —『ポカホンタス』に見る「インディアン捕囚体験記」と異文化遭遇 (アメリカ最初期の異文化コミュニケーションの実例について考える)
第 5 回	西部開拓と明白なる使命 —『ボウリング・フォー・コロンバイン』に見る米国銃社会
第 6 回	アメリカへの移民問題—自由のアメリカのイメージの形成
第 7 回	英米帝国主義下での奴隷制度—リンカーンと南北戦争
第 8 回	ヴィクトリア朝イギリスの文学—R.L.スティーヴンソン、H.G.ウェルズ
第 9 回	世紀転換期の科学—英米におけるダーウィンの進化論・フロイトの精神分析
第 10 回	言語教育について—『ビッグマリオン』『マイ・フェア・レディ』
第 11 回	戦争の考察 —二つの世界大戦・湾岸戦争・イラク戦争 (世界の文化の多様性と武力衝突を考える)
第 12 回	東西冷戦の文化—赤狩りと核兵器の脅威とベトナム戦争 (世界の文化の多様性と武力衝突を考える)
第 13 回	公民権運動—女性・黒人の歴史 (マイノリティの抵抗と世界の文化の多様性への希求)
第 14 回	アメリカの大統領選挙—大統領のヒーロー性 (多様性ある世界実現への課題)
第 15 回	総論 多文化共生の時代に—外部講師のネイティブ・スピーカーを交えた異文化体験交流会 (異文化コミュニケーションの現状と課題を考える)
第 16 回	定期試験

## 到達目標

アメリカにかかわる英語圏の多様な文化や社会や歴史、コミュニケーションの現状と課題について学ぶことで、より深い次元での他者との交流や相互理解を可能にすることを旨し、また、中学校及び高等学校における外国語科の授業の異文化理解の助けとする。

## 履修上の注意

楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。資料を配布するのでファイルを持参のこと。

## 予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

## 評価方法

学期末試験 (60%)、提出物(コメントペーパー)や受講態度 (40%) などの総合評価。

## テキスト

プリントによる配布資料 また参考文献については適宜指定する。